

平成 19 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

平成18年4月の介護保険制度の改正以来厳しい運営を強いられ、社会福祉法人の運営すらも危ぶまれているなか、各事業今まで以上に目標に向かって努力をしました。

当法人は9年目を迎え、今日まで培ってきた施設運営のノウハウを地域に還元すべく、また、地域福祉の推進を目指して新たな事業を展開するために、経営コンサルタントと協働し様々な検討をおこないました。また、慢性的な介護職員の不足、離職率の高さなど社会問題にもなっている現状を打破するため、そして現職員のモチベーションを上げるために、職場研修の充実に努めるとともに、運営理念を意識した取り組みも行ないました。また地球環境（エコロジー）に配慮した取り組みとして、節約の観点から目標を設定し、光熱水費などの経費節減につなげました。

1．特別養護老人ホーム事業

施設ケアマネージャーと、かかわっているスタッフとともに、利用者の個別のケアプランを作成し、一人一人の求めるサービスの提供に努め、実施にあたりご家族にも説明をしていくことができました。また、看取りについては医師の協力のもと看護、介護の連携を密にし、11名の利用者の最期を看取ることができ、施設として大きな自信となりましたが、入退所については、スムーズに行かない時期があり、退所から新入所までの空床日数が平均約18日となり、今年度目標稼働率（96％）は上回ったものの改善すべき重要課題となりました。

平成19年度退所者24名（内死亡17名、長期入院6名、在宅1名）

(1) 生活相談

入所に際しては、介護保険制度及び契約内容を十分に理解していただくために、入所者及び家族の方々との話し合いを行い、日常生活及び家族関係等についての相談も行いました。また家族懇談会を開催し、サービスの向上を図るとともに、家族の方にも、施設を身近なものに感じていただけるよう努めました。

(2) 身辺介護

入浴、排泄

個々の状態に合った入浴方法でゆったりと入っていただき、顔見知りの職員が介助することにより安心して事故なく入っていただくため、フロアごとの入浴を実施することができました。排泄についても自立を促すための努力をしましたが、オムツの方を減らす取り組みは課題として残りました。

食事

ア 給食会議を毎月定期的に行い、入所者の嗜好調査に基づき、楽しい雰囲気の中でおいしく食事ができるように配慮し、選択メニュー、鍋料理等季節感のある食事の提供に努めました。中でも毎月の駅弁、焼きたてパンなどは楽しみにされていました。

イ 食事量の極端に少ない方には、独自の介護食、捕食等の検討を行い提供に努めるとともに、誤嚥の防止に努めました。特にソフト食の取り組みは、誤嚥しやすい方にとって食事の質の向上につながりました。水分補給については、形態も含め検討し、積極的に摂取してもらい脱水防止に努め、あわせて水分量を細かくチェックするようにしました。

ウ 個別の栄養ケアプランを作成し、一人ひとりの栄養状態等を細かく把握し栄養ケアマネジメントをしました。

エ 引き続き 家庭的な雰囲気味わっていただくため、小人数ずつ夕食にお好み焼き、鍋料理はとても喜んでいただきました。

健康管理

ア 日常の健康管理に努めるとともに、伝染性疾患の予防のため、インフルエンザの予防接種、レントゲン検診等定期的に健康診断を行いました。

イ 重度化に伴い医療の依存の度合いが高くなり、看護師を担当制にし、介護職との連携を今まで以上に密にし、専門的な研修会を増やすことにより観察力を高め、入院者を出さないよう努めました。夜間における看護師のオンコール体制も大きな要因となっています。引き続き冬場の健康維持のため、湿度の確保に努め、熱発者を減らす努力もしました。

ウ 管理医師と密に連絡をとりながら、入院については多根病院の協力を得、不安のない生活をしていただけるよう努めました。

エ 管理医師とともにご家族と十分話し合いをもち、看取りを希望された方にはできるだけ対応するよう努力しました。

オ 引き続き対応が困難な認知症の方については、阿波座診療所の藤井先生に診ていただき、歯科診療については、中島先生に往診治療を行っていただきました。

機能訓練指導

利用者のADL向上と、その人らしい生活が送れるよう、医師、理学療法士の協力を得、個別のプランに基づき機能訓練指導員を中心に看護師、介護士が訓練を行いました。

日常生活の中で目的をもった離床を行い、朝の体操、レクリエーション等、楽しみながらの機能回復にも努めました。

引き続き癒し犬とのふれあいを月2回、「心のケア」の取り組みとして行いました。

教養娯楽

施設生活を潤いのある生活にするため各種の行事を実施しました。

個人の希望を尊重し、少人数での外出を積極的に行うとともに、ご家族にも呼びかけ楽しいひとときを過していただきました。また各フロア・ごとの行事も楽しんでいただきました。

地域交流について

地域ボランティア団体、小中学校、保育園等の見学、交流を行いました。また、江戸堀連合の盆踊りに入所者とともに参加し、地域の方たちに交じって楽しんでいただきました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス全般においては、大きな事故等もなく、地域の方々のニーズに応じたサービスを提供していく、より質の高いサービスを提供していく「在宅支援」の取り組みにより利用者に安心して利用して頂けるサービス提供ができました。

また、平成18年4月の介護保険制度の改正、障害者自立支援法施行と居宅サービスの大きな転換期を迎え、平成18年度に引き続き訪問介護、地域活動支援センター（旧 身体障害者デイサービス）の両事業について特に事業の見直し等に取り組みました。その結果、訪問介護事業は若干の黒字と採算面での改善が見られましたが、一方で地域活動支援センター事業は大阪市事業である地域活動支援センター（B型）に移行できず、事業廃止することとなりました。

(1) 短期入所(ショートステイ)

ショートステイの利用は定着しているも、周辺施設と競合するなか、入院の空きベッドも活用し緊急時にも柔軟な対応(送迎を含む)で、前年度より年間利用人数が上回りました。昨年同様、ショート利用者も担当制にし、個別のケアプランを策定し、より細やかなサービスを提供するよう努めました。また、できるだけ顔なじみの介護、寄り添う介護に努め、リピーターを増やす努力をしました。

機能訓練については、希望の方にプランを作成し実施しました。

(2) 通所介護(高齢者デイサービス)

365日営業も3年目を迎え、地域に認知されつつあり、平日・土日問わずほぼ定員に達しており、前年度の実績を上回る要因となりました。

個別ケアの充実、利用者及びご家族をより深く理解し、サービスを安心して利用できる環境づくり、など一つ一つが構築されており、安定した利用となっています。また、前年同様、予防への取り組み(口腔ケア、個別リハビリ)の効果からか体調不良者も少なく、当日キャンセルも少なかったことが売上げ増に寄与しています。

今年度は、恒例のお好み外出、お出かけランチに加え、パフォーマンスボランティアを定例化し、日常の活性化を図り、認知症予防にもつながっています。

また、7月に行った顧客満足度調査では前回と比較して「満足・ほぼ満足」の割合が向上し、改善点等が効果を表している結果が出ました。

次年度は、引き続き満足度調査を行い、利用者及びご家族のニーズの把握に努め、先を見据えた事業を展開していきます。また、ご家族を含めた関連機関との連携や自立支援に向けた取り組みの強化により、各々の利用者の生活の質を維持していけるよう在宅生活を支援していきます。

(3) 地域活動支援センター(旧 身体障害者デイサービス)

今年度は、昨年度に施行された障害者自立支援法施行により身体障害者デイサービス事業の廃止に伴って市町村事業である地域活動支援センター(B型)に移行すべく取り組みをしました。

しかしながら、職員が確保できなかったこと 利用者の確保が充分できなかったことなどにより地域活動支援センター(B型)への移行が当面難しいことから大阪市と協議の上、平成19年度末をもって事業廃止することとなりました。

(4) 在宅介護支援センター

西区包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け2年が経過しました。ここ数年と同様に居宅介護支援事業への業務の比重が大きく、総合相談窓口業務の役割が十分に果たせなかったことに変化はないものの相談件数は着実に伸び続けており、地域の認知度も高くなりつつあります。その要因としては西区包括支援センターに寄せられた相談のうち、花乃井地域の相談については西区包括支援センターが当センターを紹介する体制を整えたことが大きいと思われる。

又、西区包括支援センターや地域各種関係者との連携および地域活動については上記の体制整備に加え、前年度と同様に対象地域における介護予防教室(介護予防について)を開催、さらに、大阪市委託事業である家族介護教室も開催し、地域住民の方々ともかなり交流を図ることができました。次年度もこのような機会をより多く設けて継続して取り組みます。

一方、居宅介護支援事業としては、介護予防の導入に伴い、要介護から要支援へ更新される利用者が多いことと軽度者の比重が多いという大阪市の特徴があるにも関わらず、利用者確保に向けて何ら対策をとらなかったため、要介護状態の新規利用者の確保ができなかったことは反省すべき点であります。しかしながら、介護支援専門員の退職及び新規採用が重なったにも関わらず、大きな混乱も無くスムーズな引継ぎができました。

次年度は特に利用者の確保と介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

(5) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

事業の採算面においては、時給制のヘルパーを中心とした職員数の配置に努め、固定経費を減らした結果、初めて単年度黒字で終えることができました。

しかしながら、新規利用者数の伸び悩み、予防介護認定の利用者の増加により、総派遣時間数及び派遣単価が伸びませんでした。この件については次年度の課題となりました。

また、サービス内容においては、ヘルパー研修会とケース会議の定期的な開催により、質の高いサービスを展開できました。

3. 診療所事業

前年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。又、前年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、特に感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

平成19年度の事業実施にあたっては、当法人の運営理念とコスモスガーデンの運営方針である

高齢者の特性に配慮した暮らしやすい住居を提供し、

入居者の自主性を尊重し、

入居者が明るく、心豊かに生活できるよう配慮することを基本として、事業実施に鋭意取り組みました。

また福祉、健康、生き甲斐等の情報を共有できるよう、江之子島コスモス苑、多根総合病院、関係行政機関等地域との連携協調を深めるよう展開しました。

さらに、職員の専門性の向上、入居者の生活の質的向上を図るため、施設内外の各種研修に積極的に参加しました。

(サービスの内容)

(1) 相談・助言

入居者の生活状況、家族状況、健康状況を把握し、個別援助計画を立て、効果的な相談・助言・支援に努めました。

(2) 食事について

食事アンケートを行い、入居者の嗜好を把握すると共に、また、定例の給食会議で、献立内容の点検、食材の吟味、調理法、新企画等について検討し、日々の食事に反映するよう務めました。

さらに、セレクトメニュー、バイキング、焼きたてパン、職人によるにぎり寿司、ステーキランチ等、より豊かな食生活の提供に努めました。

健康相談医の指導のもと、糖尿食、減塩食を提供し、健康維持に努めま

した。

風邪等体調不良の入居者には体調不良食を用意し 居室への配下膳サービスを行いました。

また、食中毒防止及び安全な食材の観点から納入業者の選定や厨房内調理従業員の 衛生管理等委託給食業者に対し、必要な指導を行いました。

(3) 入浴について

歩行の不安定な入居者には、家族やヘルパー等による 特別入浴時間帯を設け、付き添い入浴を楽しんでいただきました。

(4) 緊急時の対応

非常通報装置や全館一斉放送の設備があり、個々の居室にはナースコールも設置されているのでこれらの活用を図りました。 急病の場合多根総合病院に依頼すると共に、家族にも連絡する等迅速に対応することができました。

また、消防訓練、地震避難訓練等計画的な防災訓練を実施し、災害に備えました。

(5) 在宅福祉サービスの利用

入居者が日常生活上の援助や介護等が必要となった場合在宅福祉サービスを利用できるよう江之子島コスモス苑多根訪問看護ステーションの協力を得て、在宅サービスの情報提供を行いました。

(6) 健康管理

定期的な健康診断や定例的な多根総合病院医師による「健康相談会」を実施し、入居者の健康保持、疾病予防に努めました。

(7) 自主活動支援

入居者が自主的に行う、クラブ活動をはじめ、趣味、教養娯楽、ボランティア等へ必要に応じて育成を図りました。

(事業運営の推進)

(1) 要介護状況への対応

国による基準省令が策定予定の中、入居者の加齢に伴う要介護状況への対応につき、運営上の検討を行い、問題の整理を行いました。

(2) 介護予防教室の継続実施

介護予防対象の入居者や地域の老人クラブを対象として鋭意実施しました。本年度は在宅福祉推進の拠点施設として本格的、計画的に実施すると共に入居者の健康増進に努めました。

(3) 長期修繕計画の見直し

設立時の修繕計画では、計画と現状にずれが生じているため、きっこう会施設担当部署や施設施工会社の協力を得て修繕計画の見直しを行いました。

(4) 第三者評価の準備

軽費老人ホームにおける第三者評価事業の受審と公表が近々義務実施される予定であり、その対応として、自己評価を整理し、第三者評価の準備を行うことで、利用者の選択の的確性、運営費の弾力運用等の向上に向け、鋭意取り組みました。

〔資料 編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

入所者利用状況(H19.4.1～H20.3.31)

ア. 平均年齢 全体 男女別 (H20.3.31現在)

男性	17名・84.9歳	女性	87名・87.5歳	男女平均年齢	104名・87.0歳
----	-----------	----	-----------	--------	------------

イ. 日常生活動作調査(対象者104名) (H20.3.31現在)

区 分	移 動			食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助												
実数(名)	10	33	61	19	42	43	7	23	74	1	21	82	6	24	74

区 分	整 容			意志疎通			寝返り			車椅子使用			認知症 老人数
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助										
実数(名)	4	27	73	19	31	54	13	37	54	7	21	56	95

主な行事および活動

ア. 行 事

日 付	行 事 名	備 考
平成19年 4月3日	造幣局(観桜会)	造幣局の桜を觀賞し、季節を感じていただく。入居者16名参加
5月7日～	うつぼ公園散策	地域で有名なうつぼ公園を散策し、季節を感じつつ、身も心もリフレッシュしていただく。入居者35名参加。
6月10日	5階ふれあいレク	入居者とご家族、職員と一緒に楽しく過ごす機会を設けた。
6月12日	鉄板まつり	楽しい模擬店の雰囲気の中かで、たこ焼き・焼きそばをおやつとして提供。
7月11日 ～13日	すいか割り	夏の風物詩「すいか割り」を入居者の皆様に楽しんでいただく。
7月17・30日	海遊館・食いしん坊横丁外出	家族様と同伴で、海遊館で色々な魚を観て、さらに、食いしん坊横丁で食事をして楽しんでいただく。入居者9名参加。
8月17日	地域の盆踊り	江戸堀公園の盆踊りに参加する。 入居者17名参加
8月25日	夏祭り	模擬店、盆踊り、カラオケ等入所者・家族・地域の人々・理事・評議員を招待し、ボランティア、地元女性会の協力を得て、楽しんでいただく。
8月31日	花火	夏の風物詩として、入居者の方に花火を楽しんでいただく。

9月17日	敬老祝賀会	特養40名、SS10名、デイ25名の入居者、利用者が参加し、行われた。 民謡 八昇会 司会 河内家はっしょう
11月5日	新世界散策 (づばらや食事会)	新世界に散策に出かける。 入居者8名参加
11月12日 ~16日	秋の味覚祭り	食欲の秋、深まる秋の味覚を、石焼いもで、五感に感じていただく。
11月19日 ~21日	鮭祭り	鮭職人がきて、各階ごとに、入居者様の前で、鮭を握ってもらい、楽しんでいただく。
12月18日 ~21日	クリスマス	各フロアで、クリスマスソングの合唱、ショートケーキ、鉄板焼きステーキ料理にて、楽しんでいただく。
12月25日	もちつき大会	昔ながらのおもちつきを楽しんでいただき、つきたてのお餅を召し上がっていただく。
平成20年 1月1日	新年祝賀会	おせち料理と施設長挨拶 お屠蘇で祝う(1・2日)
1月3・7・9日	初詣	茨住吉神社に初詣(15名参加)
2月3日	節分	入所者が赤鬼にカラーボールをぶつけ、節分の雰囲気を楽しんでいただく。
2月17日 ~21日	鮭祭り	鮭職人がきて、各階ごとに、入居者様の前で、鮭を握ってもらい、楽しんでいただく。
2月25日	暮らしの今昔館へ外出	昔の町並みや時代の暮らしぶりに触れ、懐かしい時間を過ごすことにより、楽しんでいただく。入所者4名参加。
3月5日	保育園児との交流会	特養3F・4F 園児25名参加

11月・12月・1月・2月に鍋料理

毎月2回以上の行事食提供 毎月第1火曜日に誕生日会

入居者全員に少人数で年1回お好み焼きと年1回冷やしそうめん提供

イ．ホーム喫茶

管理栄養士が中心となり、毎週水曜日(理髪日、行事のある日は除く)に、1階喫茶コーナーにてオープンし、毎回30~40名程の方が楽しみに利用される。チケット制にし、飲み物、お菓子(和菓子・ケーキなど)を用意し、50円で提供している。

ボランティアの伊野隆子様・松本良子様には昨年に引き続き毎回協力いただいている。

ウ．面会・外出・外泊状況集計表(H19.4.1~H20.3.31)

月平均面会回数

24回以上	~12回	~6回	~3回	~2回	~1回	~0回
4名	9名	13名	11名	17名	15名	35名

外出回数

24回以上	~12回	~6回	~3回	~2回	~1回	~0回
1名	1名	1名	3名	4名	9名	85名

外泊回数

24回以上	~12回	~6回	~3回	~2回	~1回	~0回
0名	0名	8名	1名	3名	4名	88名

エ．自衛消防訓練等実施状況

年月日	内 容	備 考
平成19年 7月16日	自衛消防訓練(3F配膳室昼間想定)	消火・通報・避難・誘導訓練
平成19年11月12日	自衛消防訓練(2F厨房昼間想定)	消火・通報・避難・誘導訓練

2．居宅サービス事業

ショートステイ事業

・実施状況 (H19.4.1～H20.3.31)

	開設 日数	実利用 人数	延利用 人数	送迎	1日 平均	平均 介護度
年間合計	365	630	4929	1831	13.5	2.816
月平均	30.4	52.5	410.8	152.6		

高齢者デイサービス

ア．利用者状況(H19.4.1～H20.3.31)

	開設日数	実利用人数	延利用人数	送迎	入浴	給食
年間合計	366	1,267	8,966	15,690	6,783	8,827
月平均	30.5	105.5	747.1	1,307.5	565.2	735.5

イ．利用者数推移表(H19.4.1～H20.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末利用者数	102	107	109	99	103	106	111	108	105	106	104	107

ウ．利用者の状況 (H20.3.31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子供(家族) と同居	その他	合 計
合 計	39	14	55	0	107

エ．主な行事

- ・お花見(土佐稲荷神社): 3月30日(金)～4月12日(木)
- ・お好み外出(魚河岸たちばな): 5月7日(月)～13日(日)
- ・お好み外出(天満天神繁昌亭): 5月21日(月)～31日(木)
- ・外出ランチ(すみれ亭): 6月11日(月)～15日(金)
- ・お好み外出(心斎橋そごう): 6月25日(月)～30日(土)
- ・七夕週間: 7月2日(月)～8日(日)
- ・外出ランチ(江戸堀やまぐち): 7月9日(月)～15日(日)
- ・お好み外出(天保山めぐり): 7月23日(月)～29日(日)
- ・夏祭り週間: 8月6日(月)～12日(日)
- ・敬老週間: 9月10日(月)～16日(日)
- ・外出ランチ(魚河岸たちばな): 9月10日(月)～16日(日)
- ・お好み外出(水上バス): 9月24日(月)～9月26日(水)
- ・鶴橋風月(お好み焼き): 9月28日
- ・外出ランチ(江戸堀やまぐち): 10月5日(金)～12日(金)
- ・運動会: 10月15日(月)～21日(日)
- ・お好み外出(天然温泉): 10月22日(月)、24日(水)
- ・外出ランチ(魚河岸たちばな): 11月5日(月)～11日(日)
- ・味覚祭り: 11月16日

- ・お好み外出（箕面紅葉ドライブ）：11月19日（月）～24日（日）
- ・年忘れ演芸会：12月17日（月）～23日（日）
- ・初詣（茨住吉神社）：1月1日（火）～13日（日）
- ・節分：1月28日（月）～2月3日（日）
- ・外出ランチ（江戸堀やまぐち）：2月11日（月）～16日（土）
- ・梅見（西九条公園）：2月25日（月）～3月9日（日）

オ．誕生日会

- ・毎月開催（1000円程度のプレゼントと誕生日カードを渡す）

カ．クラブ活動

- ・毎月第3週に計算・算盤、書き方、手話、運動、娯楽の各クラブ活動を実施

地域活動支援センター

ア．利用者状況（H19.4.1～H20.3.31）

	開設日数	実利用人数	延利用人数	送迎	入浴	給食
年間合計	259	120	647	625	487	392
月平均	21.5	10.0	53.9	262.5	52.0	32.6

イ．利用者数推移表（H19.4.1～H20.3.31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	10	11	10	10	10	10	10	11	10	10	9	9

ウ．利用者の年齢別・性別状況（H20.3.31現在）

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	合計
男性	0	1	0	0	1	0	1	0	3
女性	0	0	3	1	1	1	0	0	6
合計	0	1	3	1	2	1	1	0	9

エ．平均年齢 全体 男女別（H20.3.31現在）

男性	3名・50.6歳	女性	6名・44.0歳	男女平均年齢	9名・46.2歳
----	----------	----	----------	--------	----------

オ．利用者の身体状況（H20.3.31現在）

	肢体1級	肢体2級	肢体3～6級	視覚	聴覚	内部	その他	合計
合計	5	2	0	0	0	2	0	9

	生活自立	準寝たきり	寝たきり	合計
合計	5	2	2	9

カ．主な行事

- ・夏祭り：8月25日（土）
- ・西区民まつり：11月4日（日）
- ・クリスマス会：12月25日（火）
- ・初詣（茨住吉神社）：1月8日（火）

キ．誕生日会

- ・該当者のいる月に開催（利用者全員で誕生者に、バースデイソング合唱・プレゼントを贈り、ケーキでお祝いした。）

在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア．相談事業実施状況(H19.4.1～H20.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
相談延件数	6	18	12	19	23	11	12	12	18	24	14	23	192	16.0

イ．相談内容(H19.4.1～H20.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
経済・生活問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護サービス	1	8	7	11	13	7	10	8	11	18	11	13	118	9.8
介護予防サービス	0	3	1	2	7	1	0	1	1	0	0	1	17	1.4
介護予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
福祉サービス	2	7	4	6	1	3	0	2	4	2	2	9	42	3.5
保健医療サービス	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	6	0.5
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
生きがいづくり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4	1	0	1	0.7
合計	6	18	12	19	23	5	12	12	18	24	14	23	41	16.0

(2)居宅介護支援事業

ケアプラン作成状況(H19.4.1～H20.3.31)

	作成 件数	平均 介護度	要支援 1・2	経過的 要介護	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
年間合計	1,286	1.72	274	327	327	353	198	82	52
月平均	107.1	1.72	22.8	27.2	27.2	29.4	16.5	6.8	4.3

訪問介護(ホームヘルプサービス)

ア．利用者状況(H20.4.1～H20.3.31)

	実利用人数	生活援助	身体介護	派遣時間計
年間合計	625.0	4884.5	1312.0	6196.5
月平均	52.0	407.0	109.3	516.3

イ．平均年齢 全体 男女別(H20.3.31現在)

男性	7名・80.4歳	女性	47名・82.7歳	男女平均年齢	54名・82.4歳
----	----------	----	-----------	--------	-----------

ウ．利用者の状況(H20.3.31現在)

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合計
合計	29	10	0	3	12	54

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数 (H19.4.1～H20.3.31)

	入所者	職員	その他	合計
年間合計	1244名	48名	5名	1297名
月平均	103.6	4.0	0.4	108.1

イ. 健康診断実施状況 (H19.4.1～H20.3.31)

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	221名	116名	33名	370名
月平均	18.4	9.7	2.8	2.8

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況 (H19.4.1～H20.3.31)

入所者	96名	職員	119名	ケアハウス	27名	職員家族	33名	合計	277名
-----	-----	----	------	-------	-----	------	-----	----	------

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 入居者の状況 (H20.3.31現在)

- ・ 平均年齢

全体 82.1歳	男性 (6名) 79.3歳	女性 (34名) 82.6歳
----------	---------------	----------------

イ. 日常生活動作調査 (対象者40名)

区分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立歩行	補助具使用	自立	一部介助	全部介助	普通	やや不自由	不自由	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	35	5	40	0	0	40	0	0	37	3	0

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ. 面会・来客・外泊状況集計表 (H19.4.1～H20.3.31)

- ・ 年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
15名	2名	5名	9名	9名

- ・ 外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	2名	5名	14名	18名

エ. 主な行事

- ・ 4月 お花見 創立記念行事 行楽弁当
- ・ 5月 端午の節句 菖蒲湯 行事食 ティパーティ ステーキランチ
- ・ 6月 お茶会 バイキングパーティ
- ・ 7月 七夕 行事食 外出ランチ
- ・ 8月 納涼祭
- ・ 9月 長寿お祝い会 自衛消防訓練 結核健診
- ・ 10月 入居者健康診断 お月見 外出ランチ インフルエンザ予防接種 行楽弁当

- ・ 1 1月 作品展とお茶会 寿司ランチ
- ・ 1 2月 人権研修 クリスマスパーティ 餅つき
- ・ 1月 新年御礼会 七草粥 ぜんざいパーティー 小正月 鏡開き
- ・ 2月 節分 お茶会
- ・ 3月 ひな祭り 自衛消防訓練

オ、その他

- ・ 誕生日会 健康相談会 介護予防教室 :月1回
- ・ 行事食(セレクトメニュー、バイキング料理含む) :月2回
- ・ 焼きたてパン 鍋料理(冬期) :月2回
- ・ 多根総合病院健康講座 :希望者参加
- ・ 活動クラブ 書道、手芸、カラオケ、麻雀

5. その他

(1) 研修状況

・ 施設内研修

日付	研修名	研修内容	参加者
平成19年 4月20日	福祉施設職員の心得	老人福祉施設に勤める者として、基本的な姿勢等について	施設長以下計52名
5月18日	高齢者によく見られる症状と兆候	高齢者に対する観察の要点について	施設長以下計60名
6月15日	食中毒予防について	食中毒の原因となる細菌と予防について	施設長以下計51名
7月25日	救急救命法について	救命処置について、医師より具体的な方法を学ぶ。	施設長以下計48名
8月10日	認知症の対応について	認知症についての、基本的な理解、対応方法について	施設長以下計48名
9月21日	生活リハビリについて	理学療法士より、リハビリについて、実演を含め、講義を受ける。	施設長以下計32名
10月19日	インフルエンザと感染症について	インフルエンザの症状、特徴、予防等について	施設長以下計42名
11月16日	非常災害の対応について	災害が起きた時の、当施設の対応について	施設長以下計43名
12月21日	高齢者虐待について	虐待防止法の説明や虐待の現状について	施設長以下計40名
平成20年 1月18日	介護保険について	介護保険の基本的な内容について説明をする。	施設長以下計44名
2月15日 3月21日	ビジネスマナー研修	社会人の基本となるマナーについて、外部講師を招き、実演も踏まえ、講義を受ける。	(1回目) 施設長以下計37名 (2回目) 施設長以下計39名

・ 施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市健康福祉局など計100の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

特別養護老人ホーム

摘要	人数
ホーム喫茶(毎水曜日)	2名
鉄板まつり	5名
民謡会(4日間)	8名
夏祭り(模擬店・盆踊り・介助)	40名
ギター演奏(1日間)	2名
南京玉すだれ(1日間)	1名
敬老祝賀会	10名
フルート、バイオリン演奏(1日間)	1名
おもちゃ作り(1日間)	10名
もちつき大会	9名
琉球民謡	1名

通所介護(高齢者デイサービス)

摘要	人数
花見(土佐稲荷神社10日間)	のべ27名
お好み外出(天神繁盛亭5日間)	のべ9名
お好み外出(心斎橋そごう3日間)	のべ4名
お好み外出(天保山3日間)	のべ6名
盆踊り(7日間)	のべ21名
お好み外出(水上バス3日間)	のべ10名
お好み外出(紅葉ドライブ4日間)	のべ6名
初詣(10日間)	のべ27名
梅見(14日間)	のべ15名
お手伝い(24日間)	1名
ハーモニカ演奏(毎月誕生会)	1名
話し相手・お手伝い(家裁紹介)	7名
ひとり講釈(3回)	1名
うた楽バンド(10回)	2名
歌体操(46日間)	のべ95名
西区の歴史語り(12回)	のべ16名
叙情歌(2回)	3名
三味線(12回)	1名
歌謡浪曲(7回)	5名
日本民謡(8回)	6名
フラダンス(2回)	10名
沖縄三線(4回)	10名
オカリナ(4回)	4名
サインダンス(手話ダンス)(3回)	3名
歌と踊りの歌謡ショー(4回)	1名

バイオリン(6回)	1名
腹話術	1名
南京玉すだれ(1日間)	1名

身障デイサービス

摘要	人数
パソコン教室(毎週1回)	2名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	2名	46名	社会福祉士
仏教大学	1名	12名	社会福祉士
甲子園大学	1名	12名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	12名	240名	介護福祉士
(有)シニアケアスタッフ	1名	3名	ホームヘルパー1級
(社団)大阪市母と子の共励会	3名	9名	ホームヘルパー2級
大阪YMCA国際専門学校	1名	3名	ホームヘルパー2級
(有)クオリティピュアスクール	2名	6名	ホームヘルパー2級
(社団)大阪府看護協会	3名	3名	看護力再開発講習会
大阪市成年後見支援センター	2名	6名	後见人等養成講座
10機関	26名	340名	-

・体験学習

平成19年11月6日 大阪市立花乃井中学校2年生 3名
 平成19年2月7日～8日 大阪市立西中学校2年生 2名

(3) 寄付金の状況寄 (平成19年度分:日付順)
 コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成19年4月10日	田中 恵津子様	入所者 家族	100,000	特養の運営費に充当
平成19年6月15日	吉田 安雄様	入所者 家族	100,000	特養の運営費に充当
平成19年7月10日	石田 賀寿子様	入所者 家族	100,000	特養の運営費に充当
平成19年8月25日	山本 壽一様	監事	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年8月25日	山脇 浩子様	評議員	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年8月25日	大阪プラムライオンズク ラブ 竹田 房子様	地域	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年8月25日	エルベ振興町会様	地域	5,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年8月25日	江戸堀連合振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年8月25日	白國 哲司様	理事	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当

平成19年 8月25日	原田 和子様	入所者 家 族	30,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年 8月25日	広教女性会 木村 和子様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成19年 8月25日	江戸堀連合 坂本様 広教連合 中島様	地 域	5,000	特養の運営費に充当
平成19年 8月25日	広教連合振興町会様	地 域	10,000	特養の運営費に充当
平成19年12月14日	井迫 セキ様	入所者 家 族	447,005	特養の運営費に充当
平成19年12月20日	大阪市民生委員 児童委員連盟西区支部様	法 人	30,000	特養の運営費に充当
平成19年12月20日	(株)幸和ドラッグ様	法 人	200,000	特養の運営費に充当
平成19年12月21日	行天 壽代様	入所者	100,000	特養の運営費に充当
平成19年12月27日	住友生命保険相互会社様	法 人	65,000	特養の運営費に充当

コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	金 額	備 考
平成19年 4月13日	靱楠クラブ様	地 域	5,000	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成19年 9月24日	靱楠クラブ様	地 域	5,000	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

寄付物品(平成19年度分：日付順)

コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成19年 8月21日	(株)銭高組様	法 人	ビール券×20枚	特養で使用

コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成19年 6月 7日	(株)グリークス様	地 域	歌謡祭チケット×10枚	ケアハウスで使用